

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

事業の概要

事業名	一般国道498号 若木バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県武雄市若木町川古 至：佐賀県伊万里市松浦町桃川	延長	3.4km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道498号は、佐賀県鹿島市を起点とし、同県武雄市及び伊万里市を経て長崎県佐世保市へ至る、延長約6.2kmの幹線道路であり、県内の東西幹線交通軸の九州横断自動車道、西九州自動車道、有明海沿岸道路を連結する県内の南北幹線交通軸となる道路である。</p> <p>若木バイパスは、武雄市～伊万里市の間に位置する約3.4kmの区間であり、事業が先行する伊万里市内の松浦バイパス、大坪バイパスと一体となって、重要港湾伊万里港へのアクセス強化に基づく物流効率化とともに、九州横断自動車道と西九州自動車道の連結性を高め「県内主要都市間55分圏」の確立を目的とする道路である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>一般国道498号若木バイパスは沿線に立地する武雄工業団地および重要港湾伊万里港や武雄北方ICなど広域交通拠点へのアクセス強化を図る路線であり、物流の効率化とともに地域産業の育成や開発計画の促進を支援するために必要な道路である。</p> <p>また、本区間の整備により主要都市である武雄市、伊万里市の連携強化ならびに交流促進が図られ、佐賀県西部地区の一体的な発展・活性化に大きく寄与することから早期の整備が望まれる道路である。</p>					
全体事業費	4.6億円	計画交通量	8,300～12,100台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

武雄市国道498号整備促進期成会（会長：武雄市長）など複数の団体から早期整備の要望を受けている。

事業採択の前提条件

事業の効率性： 便益が費用を上回っている。
事業実施環境： 円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

費用対便益	B/C	3.8	総費用：3.8億円 （事業費：3.6億円 維持管理費：2.5億円）	総便益：1.45億円 （走行時間短縮便益：1.19億円 走行費用減少便益：1.8億円 交通事故減少便益：9.0億円）	基準年 平成18年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 4.2 (交通量 +10%)	B/C= 3.4 (交通量 -10%)		
		事業費変動	B/C= 3.5 (事業費 +10%)	B/C= 4.2 (事業費 -10%)		
	事業期間変動	B/C= 3.5 (事業期間 +20%)	B/C= 4.1 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	バイパスを整備することにより、現道部の渋滞損失時間の削減が見込まれる。 【渋滞損失時間の改善】 並行区間：2.9万人時間/年 (H16現況 H17センサス1103) 削減量：2.1万人時間/年(2.9→0.8万人時間/年) 【1kmあたり渋滞損失時間】 並行区間：0.7万人時間/年・km (現況) [佐賀県平均 1.4万人時間/年・km (約0.5倍)]		
		事故対策	◎	バイパスを整備することにより、現道部の交通事故の減少が見込まれる。 【死傷事故率】 単路部：207.9件/億台年 (現況) [佐賀県平均比 3.0倍] 交差点：264.4件/億台年 (現況) [佐賀県平均比 2.5倍] *佐賀県平均：単路部 68件/億台年 交差点 105件/億台年 【その他の特徴】 通過交通が排除され、現道部における安全性が向上する。		
	歩行空間	○	通過交通が排除され、安全性の高い歩行空間が確保される。			
	社会全体への影響	住民生活	○	武雄市の特急停車駅（武雄温泉駅）や、多くの都市的機能（空港・高次医療施設）が集積する佐賀市へのアクセス性が向上する。		
		地域経済	◎	・沿線の武雄工業団地から、重要港湾である伊万里港へのアクセス性が向上する。 武雄工業地～伊万里港間走行時間：30分(現況)→28分(整備)2分短縮 ・伊万里市方向から九州横断自動車道武雄北方ICへのアクセスが向上する。 ・武雄工業団地と近接して造成が計画されている工業団地計画を支援する。		
		災害	○	信頼性の高い緊急輸送ネットワークが形成される。		
環境		○	・沿道環境(騒音)の改善便益：16.8百万円/年 ・沿道環境(CO2排出量)改善便益：2.5百万円/年 ・沿道環境(SPM排出量)削減量：0.5t/年 ・沿道環境(NOx排出量)削減量：5.0t/年			
地域社会	○	・日常生活中都市間（伊万里市～武雄市）の連絡性が向上する。 ・全国的にも著名な窯業圏(伊万里市)と温泉地(武雄温泉)を核とした観光圏を形成する。				
事業実施環境	○	佐賀県中長期道路整備計画(H16.12)に位置づけ有り				

採択の理由

- ・費用便益比が【3.8】と便益が費用を上回っている。
- ・武雄市国道498号整備促進期成会など複数の団体から早期整備の要望を受けるなど、円滑な事業執行の環境が整っている。
- ・通過交通が排除され、現道部における安全性が向上する。
- ・伊万里港や九州横断自動車道武雄北方ICへのアクセス向上などの地域経済面や、住民生活面・地域社会への波及的影響が大きく見込まれる。
- ・以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。